

# 号外 吹田に地域政党誕生

## メンバーから市長候補を擁立

(2010年11月14日 ホテル阪急エキスポパークにて)



左から、南出泉大津市議、石川・神谷両吹田市議、澤井市長、元経済産業省課長補佐の鈴木氏、倉掛大分市議。

▶▶ WEB サイトにて動画配信中!!

パネルディスカッションの様子を、  
**「龍馬プロジェクト × 吹田新選会」** ウェブサイトでご覧になれます!  
 URL <http://www.suita-shinsenkai.jp/>



### 政党テーマソングを披露

懇親会では、アニメ『NARUTO』の主題歌などを手掛けたバンド「ザ・マスミサイル」から、龍馬プロジェクトテーマソングの披露が行われた。

### 地域政党決起大会

十一月十四日(日)、万博公園駅前のホテル阪急エキスポパークにて、地域政党「龍馬プロジェクト × 吹田新選会」の発足決起大会が行われ、三〇〇名を超える支援者が集まった。大

会の中では、政党代表の石川勝吹田市議から、市長候補の擁立と第一次公認候補(新人)三名が発表された後、神谷宗幣吹田市議から、新選会の政治にかける想いが語られ、会場から賛同の拍手が送られた。また、パネルディスカッ

ションには、松原市の澤井市長をはじめ全国から「龍馬プロジェクト」の主要メンバーが集まり、このプロジェクトにかける想いや、今回の吹田での挑戦に対するエールと期待の声が寄せられた。

龍馬プロジェクト  
 吹田新選会 PRESS

龍馬プロジェクト × 吹田新選会

発行：龍馬プロジェクト × 吹田新選会

〒565-0851  
 吹田市千里山西 1-37-40  
 TEL:06-6358-1230  
 FAX:06-6358-1239



会見する「龍馬プロジェクト × 吹田新選会」のメンバー。中央手前が石川勝市議、吹田市内。

《産経新聞 北摂版 平成22年11月13日》より抜粋

報道記事から

## 吹田で地域政党発足

### 市長、市議選候補擁立へ

来年4月に行われる統一地方選で、吹田市の石川勝市議(42)らが12日、地域政党「龍馬プロジェクト × 吹田新選会」を設立したと発表した。同市の市長選、市議選に候補を擁立する方針を明らかにした。

設立したメンバーは、代表を務める石川市議のほか、神谷宗幣市議(33)ら15人。いずれも20〜40代で若さをアピール。市長選には石川市議と神谷市議の2人が市議選として活動。吹田新選会として活動。2人が、全国の地方議会を変えよう、と起こしたのが「龍馬プロジェクト」。石川県や京都府にもメンバーがいる。この会派と活動を合わせ「龍馬プロジェクト × 吹田新選会」を発足した。

この日の会見にはメンバー計7人が出席。石川市議は現在3期目の阪口善雄市長の市政について、「失敗はなかったが、多選の影響で職員やる気が失われている」と批判。「市民、国民の政治への関心を高め、吹田市を日本一の文教都市としたい」と意欲を示した。みんなの党の山内康一衆院議員も同席し「できることがあれば協力する。推薦依頼があれば検討する」との姿勢を示した。

# 「龍馬プロジェクト × 吹田新選会」

## 主要メンバー紹介



吹田市議会議員 石川 勝 (いしかわまさる)

1968年、吹田市垂水町生まれ。豊一小・豊津西中・北千里高校・神戸学院大学法学部卒。建築・不動産・保険業務に関わる中、2000年度吹田青年会議所第31代理事長に就任し、スローガン「まちのハーモニーを奏でよう」を掲げ、ボランティアフェスティバル実現。PTA会長、消防団、商工会議所などの活動を経て07年4月の吹田市議会議員選挙で初当選。龍馬プロジェクト全国会幹事長・関西州政治家連盟事務局長・橋下知事と共に教育改革を推進。

吹田市議会議員 神谷 宗幣 (かみやそうへい)

1977年、福井県生まれ。福井県立若狭高校卒業。関西大学在学中に1年間海外を回り、自分を含めた今の若者はこれでいいのかと疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、07年3月法務博士号取得後、吹田市議会議員選挙で初当選。石川勝とともに「吹田新選会」を結成し、全国を奔走し、地方から日本を変えるうねりを作り出す。予備自衛官。関西州政治家連盟代表。龍馬プロジェクト全国会会長等。



坂元 大輔 (さかもとだいすけ)

1982年大阪府生まれ。不登校の後、奈良県の進学校を17歳で中退し、米国留学。米セントマーチンズ大学歴史学部・政治学部卒業。世界中の若者との交流を通じ、彼らの「国」や「故郷」に貢献しようとする姿勢に衝撃を受ける。また、自分が日本人であることを強く意識し、現代の日本に危機感を覚える。政治家を志し帰国した直後に神谷宗幣吹田市議と出会い、以後活動を共にする。吹田市千里丘在住。座右の銘は「人生二度なし」。



後藤 恭平 (ごとうきょうへい)

1980年10月20日、吹田市育ち。吹田市立片山中学校、大阪府立摂津高等学校、大阪工業大学工学部を卒業。後藤土地家屋調査士事務所・GOTOハウジング代表。(株)後藤測量事務所代表取締役。公益社団法人吹田青年会議所：理事、大阪土地家屋調査士会：関西大学非常勤講師、社団法人大阪府宅地建物取引業協会北大阪支部：青年部副会長を務める。3児の父(6歳・3歳・0歳)である。



柿本 篤弥 (かきもとあつや)

昭和43年大阪府大阪市生まれ。近畿大学付属高校、関西外国語大学外国語学部卒業。金融機関専門紙記者、ビジネス系出版社にて編集者等を経て営業部管理職。会社勤務の傍ら政治・歴史・時事問題について学び、勉強会や講演会等の活動を行う。日本と台湾との交流を図る大阪日台交流協会理事。平成22年9月末退職、統一地方選挙に向けて活動開始。



藤井 佑香 (ふじいゆうか)

1985年5月、広島県福山市生まれ。両親、弟、祖母の5人家族。2004年3月、地元の私立女子高等学校卒業。2008年3月、香川大学法学部卒業。大学在学中に、広島県議であった父の理不尽な落選を経験し、政治への危機意識が芽生える。その後、新卒で大阪市内にあるベンチャー企業に入社。OLを経て、2010年、志ある仲間と出会い、龍馬プロジェクトで活動始める。



足立 将一 (あだちのぶかつ)

昭和60年11月5日、大阪市福島区生まれ。大阪桐蔭中学校・高等学校、神戸大学法学部を卒業。弁護士を志して勉強している中で神谷議員・石川議員と出会い政治家に対する概念が180度変わる。神谷議員の下で外部スタッフとして活動することで日本社会の閉塞感および新たな政治への期待感を感じ、政治家を志すようになる。現在プロ家庭教師として生活しながら法律・政治を勉強中。





演壇に立つ神谷宗幣吹田市議とメンバー

# 市民の皆様へのメッセージ 「5%からの挑戦」

## 現状認識

「今の日本はこのままでいいのか。」我々は政治に携わっている、日々このことを考えています。

学級崩壊や不登校。偏向教育などの教育の問題。国の行う、ねずみ講のような年金制度が象徴する社会保障。破綻寸前の医療制度。一千兆円を越えようとする国と地方の借金。尖閣問題が明らかにした資源争奪戦についていけない外交と国防。

内憂外患という言葉は、まさに今の日本のためにあるのではないかと感じるほどです。しかし、メディアはその本質をリアルに伝えようとほしません。また、我々国民の大半も危機的状況に気付いてはいながら、「誰かがなんとかしてくれ、自分や家族だけはどうにか守りたい」と思うだけで、自らがリスクを負ったり、身を削って問題を解決しよ

うとはしてきませんでした。

政治家の多くも、そうした民意を背景に選挙に通ること、利権を守ることを最優先に活動してきた結果、本来の「国益」を考えて働く本当の国士が政治の世界に足を踏み入れなくなってしまうました。国民と政治家の距離は遠のくばかりです。

## 市議会議員として

市の政治を預かる我々がこんな話をする、と、「話が大きすぎる、市議会議員の仕事ではない」という声が聞こえてきます。しかし、果たしてそうでしょうか。日本という国を船にたとえるなら、我々は吹田というブロックを選んで、そこに個人が家庭という船室を借りて、人生と言う航海をしているようなものです。そう考えるなら、どんなに船室を飾り立てても、船が沈んでしまえば全てなくなってしまうのです。

しまうのです。

我々は、政治をそのように捉えます。日本が沈んで吹田市だけが浮き上がるということは絶対にない。ですから、我々政治家という道を選んだ者は、地方議員であっても絶えず国の行く末を考えながら活動をしていく責務があると考えます。そうした思いで、地方政治を行うならば、財源のない国から予算を取ることや、バラマキによつて指示を集めるといったことは、もうやめにしなければなりません。

これからの地方政治は、有権者の意識改革を促し、それぞれの自治体を自立させ、国民一人一人が自立できる環境を作っていくことに力を注いでいくべきと考えます。

全国的な運動を経て市政改革へ

我々のメンバーは、議会活動はもちろん日々の活動を通してこ



演説する石川勝吹田市議

うした思いを訴えてきました。しかし、吹田の中だけの動きではまぢを変えることができないという壁に当たりました。

そこで二〇〇九年、吹田市の枠を越え、橋下知事らと連携し、大阪の教育改革を目標にしたプロジェクトチームを立ち上げて活動をしたところ、吹田だけ

ではできないことができませんでした。けれども、政権交代が起こり国の状態が加速的に不安定になっていくのを肌で感じ、教育政策だけをやっていても駄目だと考え、「龍馬プロジェクト」を開始し、全国を周って本気で政治をやるうという政治家を集め、新しい政治スタイルや国家・自治体の

ビジョンをつくり始めました。

次は、それを具体的政策に落とし込んで実行していく必要があります。全国にいる仲間も動き始めました。我々もこの吹田の町で新しい市長を立て、チームで市政改革を進めていこうと思います。

### 5%からの挑戦

既成概念から言えば、無謀な挑戦であることは百も承知です。選挙に関わる具体的な数字を挙げれば、前回の平成十九年の市議会議員選挙での得票率は、共産党二一%、公明党一八%、民主党二二%（民主市民連合二二%）、自民党二二%であるのに対し、我々新選会の得票数はわずか五%に過ぎません。この新選会の二人がどう頑張っても吹田の政治を変えることなんて不可能だと考えるのが普通です。

しかし、私たちはできない理由を考えるのではなくできる可能性にかけてみたい。前回の市議選の有権者総数に対する投票率は四六%で、半数以上の有権者の方々の思いや意思がこの町には眠っています。吹田市民で政治に無関心な方や失望している方の五人に一人が、私たちに期待してくださるならば、私たちは吹田で一番大きな思いを集める集団になります。

そして、私たちにそれができれば、既存政党の議員の皆さんも我々に協力してくださいと信じています。なぜなら、政治家は民意を無視できないからです。子供にツケをまわさない

眠っている思いを集めるためには、今までとは違う活動をしなければなりません。私たちはそう考えて、新しい世代の

メンバーを集め、地域政党「龍馬プロジェクト×吹田新選会」というチームで、今までにない形で活動を行います。

我々は「あれもやりません、これもやりません」といった政策は掲げないでおこうと決めています。目先だけの事にお金をかけ、これ以上子供達にツケをまわしたくないからです。むしろ「あれもできません、これもできません、しかし、未来のためにこれだけはやっておきます」といった予算に合った誠実な政治をしていきたいと考えています。

私達は、吹田市民の皆さんであれば個人の損得ではなく、町の全体像と子供達の未来をしっかりと見据えた理

解で、政策を判断してくださいと信じています。

今なら変えられる「チェンジのチャンス」

今回のような我々の動きは十年前では考えられなかったと思います。しかし、政治や経済が行き詰ってきた今だからこそ、我々のような若者が政治家に選ばれ、こんな大胆な行動が起これるのです。「吹田もこのままではいけない。」我々は覚悟を決めました。次は、このピラを手に取ってください皆さんが何かを感じ動いてくださるかどうかわず。今こそ町のあり方を変えるチャンスです。

龍馬プロジェクト×吹田新選会  
同志一同

#### 出版物紹介

**龍馬プロジェクト**  
超党派の若手政治家たちが  
日本再興の大きなうねりを  
創りだす！

経済破綻、脱ぬけ外交、  
人心危境……

内閣外閣の日本を  
正真正正に責任を持って取りかかろう。  
本気で戦う若手政治家がここに集まる！

「龍馬プロジェクト」中心  
メンバー20名が共著で本  
を出版しました！

#### ●お問い合わせ

〒565-0851  
吹田市千里山西 1-37-40  
Tel: 06-6358-1230  
Fax: 06-6358-1239